

# 中毒研究

## 第 32 卷 総目次

2019 年

第 1 号 (Vol. 32, No. 1) ~ 第 4 号 (Vol. 32, No. 4)

この総目次は、第 32 巻第 1 号~第 4 号に掲載された全論文・記事を、掲載項目別にまとめたものである。  
 タイトル：サブタイトル／執筆者名……掲載頁

### 巻頭言

●第 1 号 (Vol.32, No.1)  
 第 41 回日本中毒学会総会・学術集会開催にあたって／  
 上條吉人…………… 1

### 総説

●第 1 号 (Vol.32, No.1)  
 二酸化炭素中毒その 2／内藤裕史…………… 3  
 ●第 3 号 (Vol.32, No.3)  
 二酸化炭素中毒その 3／内藤裕史…………… 247  
 ●第 4 号 (Vol.32, No.4)  
 二酸化炭素中毒その 4／内藤裕史…………… 367

### 特集

第 1 号 (Vol.32, No.1)  
 ● CBRNE 対策  
 CBRNE 対策の特集にあたって／奥村 徹…………… 17  
 医療者の視点からの化学テロ対策の現状と課題／  
 吉岡敏治, 他…………… 19  
 バイオテロへの備え／加來浩器…………… 30  
 放射線・核テロ／富永隆子…………… 36  
 爆発物テロ対応；三菱重工爆破テロを振り返って／  
 中村勝美…………… 43  
 第 2 号 (Vol.32, No.2)  
 ●第 41 回日本中毒学会総会・学術集会抄録  
 [特別講演 アジア環太平洋との『わ』1—海外の中毒セン  
 ターに学ぶ]  
 1. ボストンにおける中毒コントロールセンターの取り  
 組み／千葉拓世…………… 160  
 2. The Current Status and Challenge of Poison Center  
 in Taiwan／Jou-Fang Deng…………… 161  
 [特別講演 アジア環太平洋との『わ』2—マレーシアの  
 毒ヘビ咬傷など]  
 1. Prospective Research and Development of Snakebite  
 Envenoming Management in Malaysia & ASEAN／  
 Ahmad Khaldun Ismail…………… 162  
 2. JELLYFISH STING ENVENOMING IN MALAYSIA  
 & ASEAN COUNTRIES : OUR BEACH AIN'T

READY!／Ahmad Khaldun Ismail…………… 163  
 3. OUCH! STONEFISH STING ENVENOMING IN  
 MALAYSIA／Ahmad Khaldun Ismail…………… 164  
 [教育講演 1 リレートーク 1 2020 年東京オリンピック  
 1 年前に—今だから語れるオウム真理教の化学テロ]  
 1. VX 殺人はこうして立証された／片木宗弘…………… 166  
 2. 1995 年 3 月 20 日 午前 9 時 34 分 東京霞が関に  
 おいてサリンを確認／大下敏隆…………… 167  
 [教育講演 2 リレートーク 2 2020 年東京オリンピック  
 1 年前に—アンチドーピング]  
 1. アスリートを守れ!! アンチドーピングにおける  
 スポーツファーマシスト／長谷理一郎…………… 168  
 2. TOKYO 2020 とその先のスポーツ&アスリートを  
 守るために／杉山育美…………… 169  
 [シンポジウム 1 日本総合病院精神医学会との合同シン  
 ポジウム—精神科医療との『わ』を求めて]  
 1. 救急医療機関を受診する急性中毒患者に対する救急  
 診療の問題点—精神科医との連携が重要であった症  
 例を経験して／小野寺誠…………… 172  
 2. 急性中毒症例への対応における救急医療と精神科医  
 療の連携—精神科医の立場から／日野耕介…………… 173  
 3. 向精神薬による急性薬物中毒患者への対応に関して  
 の救命救急と精神科医療機関での連携の課題—精神  
 科医の立場から／新井久稔…………… 174  
 4. 救急医療と精神科医療との連携と課題—精神保健福  
 祉士の立場から／山田素朋子…………… 175  
 5. 希死念慮・自殺企図患者に対する主科との連携と問  
 題点—リエゾンナースの視点から／白井教子…………… 176  
 6. 違法薬物を使用した疑いのある患者を診察した場合  
 に取るべき対応について／長野佑紀…………… 177  
 [シンポジウム 2 分析関連シンポジウム—臨床薬毒物分  
 析を整理しよう]  
 1. 救急医療施設における中毒起因薬物血中濃度測定  
 の現状／大谷典生…………… 179  
 2. 臨床検査技師の視点から急性薬毒物分析を語る—病  
 院検査室で行う薬毒物検査の目的／福田篤久…………… 180  
 3. 汎用 HPLC システムの可能性／森川 剛…………… 181  
 4. 急性薬毒物分析を保険診療の面から考える—現状と  
 可能性／山口浩明…………… 182  
 [シンポジウム 3 日本法中毒学会との合同シンポジウム  
 —OTC 薬に潜む危険]  
 1. 医療従事者向け情報が少ない市販薬の成分／  
 平 憲二…………… 183  
 2. OTC 薬の乱用・依存について／成瀬暢也…………… 184  
 3. 法医解剖の現場にみる OTC 薬中毒死例／

柏木正之……………	185	5. 東京都内の CO 中毒の発生状況, 特に労働現場における熱中症対策を鑑みて/ 神田 潤……………	212
4. OTC 薬に潜む危険—薬剤師の立場から/ 佐藤史織……………	186	[一般演題 3 乱用薬物]	
[シンポジウム 4 多職種関連シンポジウム—多職種で挑む中毒診療の『わ』]		1. 二次医療機関における救急搬送患者の簡易薬毒物検査の現況と今後の対応について/ 西山 隆, 他……………	213
1. 中毒診療の現状と多職種連携の重要性—救急医が求める『わ』のかたち/ 吉永雄一……………	187	2. リーガルハイの予期せぬ結末: Aminopropyl benzofuran (APB), Fluoromethamphetamine (FMA), 4-bromo-2, 5-dimethoxyamphetamine (DOB) による長期間続く精神病症状/ 千葉拓世, 他……………	213
2. 中毒診療における臨床心理士の役割—救急医療の現場における過量服薬を中心に/ 高井美智子……………	188	3. 意識障害で来院, のちに大麻入りチョコレート摂取が判明した一例/ 田山英樹, 他……………	214
3. 中毒診療における薬剤師の役割/ 嶋根卓也……………	189	4. 米国におけるオピオイド蔓延の隠れた犠牲者—乳幼児のフェンタニル中毒/ 千葉拓世, 他……………	214
4. 中毒診療におけるソーシャルワーカーの役割—多職種連携について考える/ 加藤雅江……………	190	5. 生物多様性条約と違法薬毒物の合法性に関する法的再考/ 澤口聡子……………	215
5. 中毒診療における看護師の役割/ 守屋信昭……………	191	[一般演題 4 農薬]	
6. 中毒診療における救急救命士の役割—病院前救護から/ 岸田全人……………	192	1. 液体肥料服毒により高カリウム血症を生じた一例/ 井上貴博, 他……………	215
[シンポジウム 5 日本毒性学会との合同シンポジウム—カフェイン中毒の基礎と臨床]		2. グリホサート中毒に対して online-HDF による血液浄化療法を施行した一例/ 近藤立雄, 他……………	216
1. 行政解剖におけるカフェイン中毒死例の特徴/ 鈴木秀人……………	193	3. 少量の摂取にも関わらず, 急性腎傷害を発症したパラコート中毒の一例/ 長友一樹, 他……………	216
2. カフェインと依存性薬物の併用効果/ 鈴木 勉……………	194	4. 内服 10 時間後に突然心停止したイミダクロプリド中毒の 1 例/ 新中さやか, 他……………	217
3. 薬物依存症臨床から見たカフェイン関連精神障害/ 松本俊彦……………	195	5. 診断に苦慮した有機リン中毒の一例/ 井上智博, 他……………	217
4. 急性カフェイン中毒の臨床研究/ 上條吉人……………	196	[一般演題 5 医薬品 1]	
5. 救命救急センターで経験したカフェイン中毒患者の特徴と薬学的対応/ 安藤基純……………	197	1. アセトアミノフェン中毒に対する NAC 治療延長・中止に関する迅速血中濃度測定の意味/ 喜屋武玲子, 他……………	218
[ワークショップ]		2. 重症量を服用したアセチルサリチル酸中毒の 2 例/ 関 俊弘, 他……………	218
『急性中毒の標準治療(仮)』(「急性中毒標準治療ガイド」改訂)の骨子とパブリックコメント募集に向けて/ 織田 順, 他……………	206	3. 当院救命救急センターにおける急性カフェイン中毒症例の現状と薬剤師の介入とその課題/ 桑原達朗, 他……………	219
[ランチョンセミナー]		4. 当院に搬送されたカフェイン中毒患者の報告/ 一林 亮, 他……………	219
1. 向精神薬乱用・依存を防ぐために臨床医にできること/ 松本俊彦……………	200	5. コーヒーの過剰摂取による急性カフェイン中毒の 1 例/ 小武和正, 他……………	220
2. 分析時間 18 秒, 最新薬毒物分析法/ 村田 匡, 他……………	201	[一般演題 6 家庭用品]	
3. 臨床中毒研究の中核となる中毒センターを目指して—薬毒物分析の有用性/ 上條吉人……………	202	1. 自殺目的で食塩過剰摂取後に発症したくも膜下出血/ 齋藤慎之介, 他……………	220
4. あやしいヤクブツをどうやって分析するか?/ 花尻瑠理……………	203	2. 心停止に陥ったが良好な経過をたどった水中毒の 1 例/ 千田咲智子, 他……………	221
[一般演題 1 情報・統計]		3. ブリーチ誤飲後に救急室で急激な意識レベル低下を来した 1 例/ 竹島茂人, 他……………	221
1. ICD 基本分類による年次死亡数データを用いた中毒患者推移の検討と今後の課題/ 森田正則, 他……………	208	4. 陽イオン界面活性剤の頸部注射による自殺企図の 1 救命例/ 藤野靖久, 他……………	222
2. 奈良県救急安心センターへの中毒事案問い合わせの現状と課題/ 多田祐介, 他……………	208	5. ガスクロマトグラフ質量分析計 (GC-MS) による薬毒物分析が確定診断に寄与した 1 例/ 片桐 梓, 他……………	222
3. 救命救急センター設立後 7 年間の中毒症例の解析報告/ 山下 進, 他……………	209	6. ブロム酸塩中毒により急性腎不全と高度難聴をきたした 1 例/ 森山太揮, 他……………	223
4. 救急センター・中毒センター受診の中毒患者の特徴/ 松本佳祐, 他……………	209	[一般演題 7 医薬品 2]	
5. 日本中毒情報センターで受信したイヌ, ネコの急性中毒に関する検討 2/ 竹内明子, 他……………	210	1. 入院後に血中濃度が再上昇し集中治療が必要となったカルバマゼピン中毒の 1 例/ 方波見謙……………	223
[一般演題 2 化学災害 チーム医療・教育]		2. 複数回の血液灌流実施にも関わらず血中濃度上昇が遷延したカルバマゼピン中毒の 1 例/ 岩田秀平, 他……………	224
1. 東京オリンピック・パラリンピック 2020 を想定した化学災害事例に対する救急医療施設の対応力調査—第 2 報(日本中毒学会)/ 須崎紳一郎, 他……………	210		
2. 化学テロに対する医療機関対応のパラダイムシフト/ 本間正人, 他……………	211		
3. 中毒教育に対する臨床研修医の意識調査/ 山本理絵, 他……………	211		
4. 中毒物質早見表を用いた中毒診療向上の取り組みについて/ 山本康之, 他……………	212		

3. 高アンモニア血症による意識障害が遷延したバルブ  
ロ酸中毒の 1 症例／長谷川綾香, 他…………… 224

4. ラモトリギンの過量服薬に対して活性炭反投与を  
用いて治療した 1 例／畠中健吾, 他…………… 225

5. リチウム中毒に見られる身体所見の動画／  
井上哲也, 他…………… 225

6. 炭酸リチウムを含む過量服薬に対し腎代替療法を行  
い改善したが, その後のオランザピン内服で悪性症  
候群となり治療に難渋した 1 例／鳴海翔悟, 他…………… 226

[一般演題 8 工業用品]

1. フッ化水素酸製造会社の現状把握と, グルコン酸カ  
ルシウムゼリーを外来で調製する際の問題点／  
竹川良介, 他…………… 226

2. フッ化水素による化学熱傷, 眼障害による 1 例／  
清水弘毅, 他…………… 227

3. 二酸化窒素を吸入し, 3 週間後に線維性閉塞性細気  
管支炎を生じた 1 例／横野良典, 他…………… 227

4. 急性トリクロロエチレン中毒の 2 例／  
小林未央子, 他…………… 228

5. CO-Hb 高値を示したジクロロメタン中毒の 1 例／  
福岡大史, 他…………… 228

6. リード(鉛)パウダー経口摂取により肝機能障害を呈  
した急性鉛中毒の 1 例／宮本和幸, 他…………… 229

[一般演題 9 医薬品 3]

1. 遅発的副作用発現が認められたベンラファキシン徐  
放製剤過量服用症例／檜山洋子, 他…………… 229

2. VA-ECMO 離脱後に再度致死的不整脈が生じた三環  
系抗うつ薬過量内服の 1 例／小原佐衣子, 他…………… 230

3. アモキサビンの大量服薬により心停止を起こした 1  
例／吉川 博, 他…………… 230

4. エチレフリンを過剰服薬し高乳酸血症を来した若年  
女性の一例／佐藤洋祐…………… 231

5. ミドドリン塩酸塩中毒の 1 例／原 真也, 他…………… 231

6. 著明な QT 延長をきたしジソピラミド中毒が疑われ  
た 1 例／島田 敦, 他…………… 232

[一般演題 10 医薬品 4]

1. 過量服薬による薬物中毒患者の再発危険因子と予防  
策／廣瀬正幸, 他…………… 232

2. 急性医薬品中毒患者に対する腹部 CT 撮影報告の検  
討／柳川洋一, 他…………… 233

3. 臭化ジスチグミン処方患者におけるコリン作動性ク  
リーゼ予備軍調査／齋藤靖弘…………… 233

4. 薬剤師による持参薬鑑定と病棟での簡易血糖測定依  
頼により持効型インスリン大量投与が判明した  
1 例／岡本祥史, 他…………… 234

5. いまだ無くならないフェンフルラミン・フェンテル  
ミン中毒—オンラインダイエツト薬品の危険性／  
千葉拓世, 他…………… 234

[一般演題 11 基礎研究・その他]

1. 比表面積の異なる活性炭製品を用いた in vitro 吸着  
実験—活性炭吸着療法に適用可能な新規吸着剤の探  
索／友田吉則, 他…………… 235

2. エンドトキシン抑制によるコルヒチン中毒の改善／  
田中宏樹, 他…………… 235

3. 曝露後の症状の有無に関する多値 logistic 回帰分析／  
澤口聡子…………… 236

4. 診断に苦慮したジスフィラム・アルコール反応中毒／  
千代孝夫…………… 236

5. 集中治療を要した急性エタノール中毒の 2 症例／

前澤俊憲, 他…………… 237

6. カンピロバクター腸炎後に死亡し心筋炎が見られた  
一例／中村磨美, 他…………… 237

[一般演題 12 自然毒等の薬毒物分析]

1. ゲル濾過クロマトグラフィーを利用した毒キノコ成  
分  $\alpha$ -アマニチン検出法の構築／岡田光貴, 他…………… 238

2. アマニチン定性試験法 (Meixner 試験) の手順書作成  
について／福田篤久, 他…………… 238

3. 馬酔木中毒患者の生体試料分析経験／  
大井真里奈, 他…………… 239

4. 生体試料分析を行ったスイセンの誤食による食中毒  
3 例／吉村久仁子, 他…………… 239

5. NeedleEx-GC(/MS) による薬毒物の一斉分析 (第一  
報)／石澤不二雄, 他…………… 240

6. GC/MS による血清中ヒ素の化学形態別分析法の開  
発と患者試料への応用／奈女良昭, 他…………… 240

[一般演題 13 自然毒]

1. 当院にて経験したマムシ咬傷症例の検討／  
広瀬由和, 他…………… 241

2. マムシ咬傷受傷後の複視に対し受傷後 24 時間以降  
にマムシ抗毒素血清を投与した一例／  
平松俊紀, 他…………… 241

3. コンパートメント症候群を呈し筋膜減張切開術を施  
行した小児マムシ咬傷の 1 例／岩崎陽平, 他…………… 242

4. ハチアナフィラキシーに対するエビベン処方例の検  
討／井上義博, 他…………… 242

5. 徐脈低血圧を呈したバイケイソウ中毒の一例／  
奈良場啓, 他…………… 243

6. 海洋生物咬刺傷 (ハブクラゲ, オニダルマオコゼ) の  
臨床的特徴／一二三亨, 他…………… 243

第 4 号 (Vol.32, No.4)

●ドーピングの中毒学・毒性学

エディトリアル; ドーピングの中毒学・毒性学—序文／  
北嶋 聡…………… 373

スポーツにおけるアンチ・ドーピング／山澤文裕…………… 375

ドーピング検査における技術の進歩と法的配慮／  
植木眞琴…………… 380

特別企画

第 1 号 (Vol.32, No.1)

●中毒学会 40 年の思い出と後進に託す想い

40 回記念特別企画の座長として／福本真理子…………… 49

日本中毒学会前史; 急性中毒研究会から日本中毒学会へ／  
鶴飼 卓…………… 52

印象に残る症例と学会運営の思い出／黒川 顕…………… 57

日本中毒学会メンバーの多様性への想い; 32 年間の会員  
の立場から／赤堀文昭…………… 62

日本中毒学会の来し方行く末; 現状と将来展望を彷彿と  
して／須崎紳一郎…………… 66

原著論文

●第 3 号 (Vol.32, No.3)

化学物質による中毒事故の削減に向けた急性曝露ガイド  
ラインレベル (AEGL) の活用／森田 健, 他…………… 263

## 症例報告

- 第1号 (Vol.32, No.1)  
重篤な乳酸アシドーシスを呈したアクリルアミド経口急性  
中毒の1救命例/奥田和功…………… 71
- 第3号 (Vol.32, No.3)  
水タバコによる急性一酸化炭素中毒で搬送された1例/  
山本康之, 他…………… 270  
一般用医薬品大量服薬によるカフェイン中毒の2症例/  
佐藤一真, 他…………… 274  
覚醒剤による横紋筋融解症から心肺停止に至り,  
VA-ECMOにて救命し得た1例/正田光希, 他…………… 279
- 第4号 (Vol.32, No.4)  
意識障害と遷延する高血圧を呈した急性メラトニン中毒の  
1例/宮本和幸, 他…………… 386  
複数一酸化炭素事例: トリアージをどうすべきなのか/  
金子 唯, 他…………… 390  
繰り返すメトヘモグロビン血症の原因に摂食障害による薬  
物野菜の偏食が疑われた1例/藤芳直彦, 他…………… 395  
初期のアトロピン投与を制限し, 腸洗浄とPAM  
(pralidoxime iodide) 投与により治療したジメチル型  
有機リン中毒の7例/藤野靖久, 他…………… 399  
A case of chemical esophagitis due to accidental  
ingestion of a disinfectant containing benzalkonium  
chloride/Rika Kan *et al* …………… 406  
緊急薬毒物分析で診断し, ホメピゾール・血液透析が有効  
であった服毒歴不明のメタノール中毒の一例/  
吉田 暁, 他…………… 410  
室内火災現場から救出され, 致死濃度の血中シアン濃度を  
呈したが生存退院した1例/磯川修太郎, 他…………… 415

## 症例短報

- 第3号 (Vol.32, No.3)  
防水スプレー吸入により肺傷害をきたした一例/  
山添正敏, 他…………… 284  
リバスチグミン経皮吸収型製剤の長期使用によりコリン  
作動性クラーゼが生じたと考えられた1症例/  
吉田拓也, 他…………… 289  
尿のハイドロサルファイト反応(パラコート反応)により  
診断した急性ジクワット中毒の一剖検例/  
梶川奈月, 他…………… 292
- 第4号 (Vol.32, No.4)  
フルニトラゼパム錠の犯罪利用が疑われた1例/  
芳澤朋大, 他…………… 420  
血液透析せずカルニチン補充で治療した中等症急性バ  
ルプロ酸中毒/松本春香, 他…………… 423  
二峰性に致死性のカフェイン血中濃度を示した急性カフェ  
イン中毒の1例/小館 旭, 他…………… 426

## レター/速報

- 第3号 (Vol.32, No.3)  
カチノン系危険ドラッグのスクリーニングキットの開  
発/向井有希, 他…………… 295

## Letter to the Editor

- 第4号 (Vol.32, No.4)  
第32巻第1号(2019: 32: 43-8)「爆発物テロ対応: 三菱  
重工爆破テロを振り返って」について/  
中村 順, 他…………… 429

## シリーズ: 解毒薬

- 第1号 (Vol.32, No.1)  
グルコン酸カルシウム/高村卓志, 他…………… 83
- 第4号 (Vol.32, No.4)  
ジゴキシン特異抗体 Fab フラグメント/福本真理子 …… 435

## 中毒中級講座

- 第1号 (Vol.32, No.1)  
除染/奥村 徹…………… 76
- 第3号 (Vol.32, No.3)  
「中毒初級・中級講座」終了にあたって/水谷太郎 …… 299

## 急性中毒温故知新 過去の中毒事案を振り返る

- 第3号 (Vol.32, No.3)  
アオブダイ中毒  
緒言(アオブダイ中毒の概要)/福本真理子 …………… 303  
アオブダイ喫食によるパリトキシシン中毒/  
坂手洋二, 他…………… 305  
アオブダイに学んだ「中毒記者」の原点と反省/  
中村通子…………… 309
- 第4号 (Vol.32, No.4)  
睡眠薬による性犯罪/片木宗弘, 他…………… 439

## クリニカル・トキシコロジストが 語るケーススタディ

- 第4号 (Vol.32, No.4)  
高アンモニア血症をきたす中毒/岩崎泰昌…………… 430

## 文献紹介

- 第1号/92, 第3号/345, 第4号/451

## 海外の中毒学会から

- 第3号 (Vol.32, No.3)  
APAMT 2018に参加して/小野寺誠, 他…………… 343

## 中毒情報センターから

- 第1号 (Vol.32, No.1)  
日本中毒情報センターWebサイトのリニューアル/  
三瀬雅史, 他…………… 88

●第 3 号 (Vol.32, No.3)  
 2018 年受信報告／公益財団法人 日本中毒情報センター… 311  
 ●第 4 号 (Vol.32, No.4)  
 日本中毒情報センターで受信したイヌ、ネコの急性中毒に  
 関する検討／竹内明子, 他… 445

**海外中毒情報文献**

●第 1 号／93, 第 3 号／346, 第 4 号／452

**クリニカル・トキシコロジスト  
 認定試験問題 解答・解説**

●第 3 号／347

**学会抄録**

●第 1 号 (Vol.32, No.1)  
 第 8 回日本中毒学会九州地方会一般演題発表抄録… 94  
 第 30 回日本中毒学会中国・四国地方会一般演題発表  
 抄録… 97  
 ●第 3 号 (Vol.32, No.3)  
 第 33 回日本中毒学会東日本地方会一般演題発表抄録 … 348  
 ●第 4 号 (Vol.32, No.4)  
 第 39 回日本中毒学会西日本地方会一般演題発表抄録 … 453

**日本中毒学会からのお知らせ**

●第 1 号 (Vol.32, No.1)  
 第 41 回日本中毒学会総会・学術集会開催のご案内  
 (第 3 報)… 101  
 第 34 回日本中毒学会東日本地方会学術集会のお知らせ

(第 1 報)… 101  
 第 40 回日本中毒学会西日本地方会学術集会のお知らせ  
 (第 1 報)… 102  
 第 31 回日本中毒学会中国・四国地方会学術集会のお知らせ  
 (第 1 報)… 102  
 ●第 3 号 (Vol.32, No.3)  
 第 42 回日本中毒学会総会・学術集会開催のご案内  
 (第 1 報)… 364  
 第 34 回日本中毒学会東日本地方会学術集会のお知らせ  
 (第 1 報)… 364  
 第 40 回日本中毒学会西日本地方会学術集会のお知らせ  
 (第 2 報)… 364  
 第 31 回日本中毒学会中国・四国地方会学術集会のお知  
 らせ(第 2 報) … 365  
 第 10 回日本中毒学会九州地方会学術集会のお知らせ  
 (第 1 報)… 365  
 ●第 4 号 (Vol.32, No.4)  
 第 42 回日本中毒学会総会・学術集会開催のご案内  
 (第 2 報)… 459  
 第 34 回日本中毒学会東日本地方会学術集会のお知らせ  
 (第 2 報)… 459  
 第 40 回日本中毒学会西日本地方会学術集会のお知らせ  
 (第 3 報)… 459  
 第 10 回日本中毒学会九州地方会学術集会のお知らせ  
 (第 2 報)… 460

**臨床中毒フォトコンテスト**

●第 1 号 (Vol.32, No.1)  
 シキミ(檜)の花／波多野弥生  
 ●第 3 号 (Vol.32, No.3)  
 越後のドクササコ／ドクササコ調査隊  
 ●第 4 号 (Vol.32, No.4)  
 銀杏の実／新谷 裕